

「台湾でも広島人気急浮上、台湾人の今時日本旅行事情」

人事コンサルティング、日本企業の台湾進出事前調査、台湾現地法人の設立、運営サポート業務等を中心としたサービスを提供。日本の良き隣人「台湾」に関することなら、築いてきた人脈と自身の経験値を基に懇切丁寧にサポート。



<2026 フード台北国際食品見本市>

今年も6月24日から27日の4日間にわたり、第36回台北国際食品見本市が開催されました。私も、広島から参加された企業の皆様の支援に努めてまいりました。

会場では、チーム「広島」が一丸となって、安心食品商談会や広島産商品のPR活動を行ったことが評価され、チーム賞を受賞するなど、大きな成果を上げることができました。



【フード台北の様子】

台湾では、大学生たちが、6月から9月までの長い夏休みを満喫しています。

7月10日から15日には、日本、アメリカ、韓国、台湾が参加する「2026年ワールドカレッジベースボールチャンピオンシップ」が台中市にて開催され、特別ゲストとして元広島東洋カープの黒田博樹氏が招待されるなど、大きな話題となりました。台湾一のカープファンを自負する私の知人も、大変興奮し、追っかけファンの先頭に立っているような様子でした。

<カープも続け、広島旅行人気急上昇！>

夏休み真っ最中の台湾で、広島旅行に関する興味深いニュースが報じられました。

台湾のデジタルメディア「風傳媒」によると、台湾の個人旅行者に人気の高い日本の宿泊予約サイト「楽天トラベル」では、夏休みシーズンの6月から7月にかけて、台湾人旅行者による広島への宿泊予約が急増

したとのことです。その結果、広島は、ランキング圏外から一気に第8位の人気旅行先へと躍進しました。

この結果は、楽天トラベルにとっても予想外だったようですが、その背景には、台湾人旅行者の志向の変化があると考えられます。台湾人旅行者の関心が、従来の人気観光地から鳥取、新潟、三重など、日本の地方都市へと広がっていることがうかがえます。

楽天トラベルは、広島人気の要因として、広島駅南口再開発や広島電鉄の循環ルート整備など、交通利便性が大幅に向上したことを挙げています。また、台湾でも根強いファンがいる任天堂のコンピュータゲーム、ピクミンシリーズの世界を具象化した「ピクミンテラス in 宮島サービスエリア」や「うさぎ島」として知られる大久野島、世界遺産の厳島神社などが、台湾人旅行者の人気スポットとして紹介されています。さらに、広島風お好み焼きや広島産牡蠣、広島レモンを使ったスイーツなど、広島の食の魅力も高く評価されています。

楽天トラベルでは、こうした観光資源や食の魅力に加え、台湾人の心理的な要因も広島人気を後押ししていると分析しています。

近年、東京や大阪、京都等の主要観光地では、外国人観光客が急増し、混雑が常態化しています。そのため、よりゆったりと海外旅行気分を味わいたいと考える台湾人旅行者は、広島のような地方都市へ目を向けるようになっていきます。

広島には、世界遺産の宮島・厳島神社や広島平和記念資料館、平和記念公園といった世界的に知られる観光資源があります。また、山陰・山陽地域や四国方面へのアクセス拠点としても利便性が高いことから、日本を何度も訪れているリピーター層にとって、多彩な観光地を効率よく巡ることができる拠点として認められているとのことです。

台湾における広島への関心は確実に高まっており、「食」と「旅」の両面で、今後さらなる発展が期待されます。私自身も、関係者の一人として、その成長を大変楽しみにしています。